

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフKANI		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 1日		～ 2024年 9月30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2024年 9月1 日		～ 2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月13 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団の療育を基本とし、子どもたちのコミュニケーション・社会性を育みながら、個別療育や保護者様のニーズに添った支援を提供しております。	子どもたちの気持ちを大切に、小集団や個別での対応を意識しながら、保護者様から頂いた情報をもとに支援に繋げられるようにスタッフ同士での情報共有に気を付けています。	保護者様との連携を大切に、学校に繋がる支援ができるように取り組んでいきます。
2	支援目的に合わせて、部屋の使い分けをしそれぞれの部屋にあった環境設定をしています。	活動をする部屋と学習をする部屋など場面場面にあった部屋の利用をしながら、集中して取り組めるようにしています。	活動をする部屋では、体がたくさん動かせるような物の配置を学習の部屋では机に仕切りがあるので、集中して学習に取り組めるようにしていきます。
3	多国籍言語に対応したスタッフを配置しており、有資格者もつたスタッフがあり、様々な言語のお子様にご利用して頂いております。	有資格者のスタッフが、自分の資格の専門知識を活かしながら支援に取り組み、スタッフ同士アドバイスをしながら支援をおこなっています。	研修などに参加をし、有資格者の知識が高められるようにし、スタッフ同士の意識向上に努めています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスを一部の地域しか提供できていない。	支援に注力しており、送迎業務に配置する人員が不足している。	送迎要因の確保を検討をおこなっていきます。
2	給食の提供ができていない。	一人一人にあった、メニューや形状の提供が難しい。	それぞれの形状や思考について保護者様と連携をとりながら進めていきます。
3	吊るす遊具の配置が難しい。	建物の構造上、ブランコなどの吊るす遊具の配置が難しい。	吊るす遊具以外の配置をおこなっていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワンライフ KANI

公表日 2024年11月18日

利用児童数

6

回収数

3

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	1				活動ができるスペースの確保はできていますので、これからも維持していきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2	1				配置人数より多めに設置しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1				バリアフリー化に配慮しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	1				掃除や消毒など毎日おこない、清潔・安全に配慮しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					一人、一人の特性を理解し、一人一人にあった支援をおこなっております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	1				はい。あっております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					保護者のニーズと子どもの課題を分析したうえで、作成しております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					これからも、具体的な内容を設定して、作成していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					おこなっております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	1				固定化されないように、工夫しながらおこない季節を感じられる活動なども取り入れております。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	2				児童館との交流や散歩や公園の利用の際など、地域の子どもたちと交流をさせて頂いております。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					はい。しっかり、丁寧に説明をさせていただいております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					説明をさせていただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1				機会を設けていきたいとおもいます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	3					これからも、保護者の方に伝えていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					これからも、続けていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					これからも、続けていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1				親子イベントなどの際に保護者同士の交流機会はありますが、兄弟同士の交流の機会も設けていきたいとおもいます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					これからも、続けていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					これからも、細かく伝えていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3					これからも、続けていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					これからも、安全に取り扱いをしていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3					これからも、続けていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1				避難訓練をおこなっております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					これからも、安心・安全に気を付けながら支援に取り組んでいきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					これからも、迅速に対応していきたいとおもいます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3					これからも、子どもたちが安心できる事業所作りに取り組んでいきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3					これからも、子どもたちが楽しみに通所できるように取り組んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3					これからも、満足していただけるように支援に取り組んでいきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワンライフ KANI			公表日		2024 年 11 月 18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			これまでと同じようにスペースを確保していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			人員配置よりも多めには配置をしております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			バリアフリー化になっております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			掃除や環境設定には、気をつけております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		学習室がある為、集中できるスペースが確保されている。	学習室・支援室など子どもたちの状況に応じて使用できるように確保されています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			話し合いをしながら、業務改善に努めております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			親子参加のイベントなどを行い、保護者の意見を聞き、業務改善に努めております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		連絡ノートを使い、共有している	連絡ノートやメールを利用しながら業務改善に努めております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		これから、もっと意見をふまえ業務改善につなげていきたいと思っております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			毎月研修をおこなっております。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			はい。されています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			はい。作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			はい。おこなわれています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			はい。おこなわれています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			はい。おこなっています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			はい。一人、一人にそった支援内容を設定しておこなっています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			はい。おこなっています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			はい。いろいろな活動プログラムをおこなっています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			はい。おこなっています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			はい。おこなっています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	支援終了後、時間を決めて、その日の振り返りをする必要があると思う。	時間を決めて行ってはいなかったもので、これからは、時間を決めて行いたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			気付いたことなどある際には、検証し、改善につなげております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			はい。おこなっております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			はい。おこなっております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			はい。おこなっております。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			はい。参加しております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			送迎の際などに話をしたりしながら、連携をとっています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			毎月連絡を取りながらおこなっています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			送迎の際などに伝えたり、電話などでも情報共有をしております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	まだ学校を卒業した子がいない。	卒業したお子さんがいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		連絡は取っているが、助言や研修は受けていないので、これから取り組んでいきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		児童館などは、利用する機会があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		声がかからない為、参加したことがありません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1		送迎の際など保護者に伝え、共通理解ができるように努めております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		家族で参加できる機会や情報提供をおこなっていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		はい。おこなっております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			はい。おこなっております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			はい。おこなっております。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			はい。おこなっております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。	5	2		親子イベントなどの際に、交流する機会を設けております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			体制を整えております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			活用して、発信しております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			はい。気を付けております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			はい。おこなっております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		みなさんにとって頂けるよに取り組んでいきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		はい。実施しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		はい。実施しております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		対応などの確認、連絡方法などの確認など事前に行っております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	食物アレルギーの利用者がいない。	今のところは、いません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			安全に配慮しながら支援をおこなっております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			はい。伝えております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			はい。しております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			はい。しております。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			はい。しております。	